

九州支部講演会の報告

九州支部第4回講演会は下記のとおり行なわれ、地元の大学・気象官署の会員のほか九州各地からも参加した。大学・気象台・一般の会員が一堂に会して交流できる数少ない場であるためか、活発な質疑・討論をおこなう有意義な研究発表会となった。

座長は、午前は九州大学理学部の宮原三郎氏、午後は同農学部の中川誠而氏が担当された。

記

日時 昭和56年2月9日 10.00~15.00

会場 九州大学農学部教室

講演題目および発表者

1. 九州および山口県に発生したたつ巻について
福岡管区気象台 鳥越 準
2. 九州東海岸における海陸風
福岡管区気象台 小柴 厚
3. アメダスの風から求めた発散と雨量との関係について
九州大学農学部 早川 誠而
坂上 務・元田雄四郎
4. 1979年7月15日の熊本県松島、八代の豪雨の解析
鹿児島地方気象台 山口 栄次
5. 安定時拡散風洞実験に関する基礎研究
三菱重工業KK長崎研究所
大場良二・前田英毅・中村 茂
6. 大気混濁係数の70年代の推移と経年変化について
長崎大学教育学部 荒生 公雄
山本 秀子
7. 立冬の気温と久住硫黄の生産高
九州大学工学部 真鍋 大覚
佐藤 洋子
長崎海洋気象台 志賀 正信
8. 風塵の堆積速度から見た地球表層の深度
九州大学工学部 真鍋 大覚
佐藤 洋子
長崎海洋気象台 志賀 正信
9. 1980年の冷夏について（主として九州地方に関連して）
福岡管区気象台 藤元 圀夫
10. 突然昇温における Wave-wave Interaction
九州大学理学部 高野 清治
瓜生 達也